

第82回 医学教育セミナーとワークショップ

併催 第23回 国公立大学医学部・歯学部教務事務職員研修

日程：2022年 5月19日(木)・20日(金)・21日(土) (Web開催)

NEW

MEDTaaalk1

5/20(金) 13:00-16:00

研修医と指導医と、 それぞれの成長

ナビゲーター：高村昭輝(富山大学)、
西城卓也(MEDC)

- 1) 救急外来研修で伸ばす研修医の
独り立ち：自己決定理論の視点から
吉田 暁(新潟市民病院)
- 2) 指導者評価と指導者としての成長：
MCTQによる救急指導医評価を例に
船越 拓(東京ベイ浦安市川医療センター)
- 3) 指導医講習修了後の医師の教育行動の
変化：認知的徒弟制の視点から
小西恵理(淀川キリスト教病院)

MEDTaaalk2

5/20(金) 16:10-16:40

バーチャル空間(oVice)を 使おう：偶然性・祝祭性そして 喧嘩を取り戻せ！

ナビゲーター：早川佳穂(MEDC)

- 1) バーチャル空間でひろがる可能性
- 2) みんなでバーチャル空間(oVice)を
体験しよう！

プレゼンター：浅田義和(自治医科大学)、
村岡千種(北海道科学大学)

▶▶ 終了後MEDBar@oViceに移動

本セミナーとWSにご参加の皆様が自由に
交流できる“MEDBar”を準備します！！

MEDTaaalk3

5/21(土) 9:00-12:00

オンライン学習ツールを 駆使しよう！

ナビゲーター：今福輪太郎・西城卓也(MEDC)

- 1) これからのオンライングループ討議：
協働学習の視点から
芳野 純(帝京平成大学)
- 2) 動画シナリオ教材の学習へのインパクト：
認知と感情と
布原佳奈(岐阜県立看護大学)
- 3) eラーニングを身体診察教育に埋め込む
鋪野紀好(千葉大学)

WS-1 5/19(木) 13:00-16:00

医療者教育の基本を教職協働で学ぼう

(教務事務職員研修共同企画)

企画：藤崎和彦・早川佳穂(MEDC)、西屋克己(関西医科大学)、
鈴木一吉(愛知学院大学)

TL

WS-2 5/20(金) 9:00-12:00

Student supporter meets IRer

～学生支援とIRの協働の可能性を探る～

(教務事務職員研修共同企画)

企画：川上ちひろ(MEDC)、恒川幸司・堀田 亮(岐阜大学)、
菰田孝行・瀬戸山陽子(東京医科大学)

ML

WS-3 5/21(土) 9:00-12:00

コミュニケーション教育としての 「やさしい日本語」：実践と導入のTips

企画：武田裕子(順天堂大学)、岩田一成(聖心女子大学)、
新居みどり(NPO法人国際活動市民中心(CINGA))、
石川ひろの(帝京大学)

TL

WS-4 5/21(土) 9:00-12:00

学務からはじめる医学教育のDX 事例に学ぶ情報のデジタル化

企画：安倍 博・羽根田 洋(福井大学)

ML

▶▶ 事前登録制です。【MEDC】HPより直接お申し込みください。

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/>

申込期間 2022年 4月 4日(月)～ 4月 22日(金)

- * 記号 (TL) 等は、アソシエイト認定のための学習領域を表しています。
詳細はホームページ「アソシエイト・フェロシップのご案内」をご覧ください。
- * WSは定員を設けております。申し込み順にて受け付けいたしますので、ご了承ください。
なお、当日参加は受け付けません。「Zoom(Webシステム)」を利用します。

2022/10/28-29
83rd 関西医大

2023/1/27-28
84th 岐阜(Web)

2023/春
85th 岐阜

NEW

MEDTaaalk1 5/20(金) 13:00-16:00

研修医と指導医と、それぞれの成長

ナビゲーター 高村昭輝（富山大学）、西城卓也（MEDC）

日時：5月20日（金）13:00~16:00

- 1) 13:00- 救急外来研修で伸びず研修医の独り立ち：自己決定理論の視点から
吉田 暁（新潟市民病院）
- 2) 14:00- 指導者評価と指導者としての成長：MCTQによる救急指導医評価を例に
船越 拓（東京ベイ浦安市川医療センター）
- 3) 15:00- 指導医講習修了後の医師の教育行動の変化：認知的徒弟制の視点から
小西恵理（淀川キリスト教病院）

概要： ゲストのミニプレゼンテーションとそれに続くゲストとナビゲーターのおしゃべりでお届けする新企画MEDTaaalkの第一弾です！
様々なテーマにまつわる最新の情報や実践のトライ、研究の知見などをご視聴いただけます。もちろん参加者はQ&A機能を使って質問を投げかけることで参加できます。
第一弾は、卒後研修における新人の成長、そしてそれを支援する指導者の成長について、3つの視点からおしゃべりが繰り広げられます。もちろん背景理論として自己決定理論と認知的徒弟制およびそこから開発されたマーストリヒト臨床教育質問紙（MCTQ）日本語版についてもお話を広げます。

NEW

MEDTaaalk2 5/20(金) 16:10-16:40

バーチャル空間（oVice）を使おう：偶然性・祝祭性そして喧嘩を取り戻せ！

ナビゲーター 早川佳穂（MEDC）

日時：5月20日（金）16:10~16:40

本セミナーとWSにご参加の皆様が自由に
交流できる“MEDBar”を準備します！！

- 1) バーチャル空間でひろがる可能性
- 2) みんなでバーチャル空間（oVice）を体験しよう！ ▶▶▶MEDBar@oViceに移動
浅田義和（自治医科大学）、村岡千種（北海道科学大学）

概要： 多くの学会やセミナーがCOVID-19の影響でオンライン開催となり、メリットも認知され、確実にポストコロナ時代でも開催方法の選択肢となるでしょう。一方で参加者同士のちょっとした情報交換および交流を広める機会が減ってしまっているデメリットもあります。本MEDTaaalkでは、セミナーなどでバーチャル空間（oVice）を併用することによる新しい形のコミュニケーションを紹介するとともに、参加者の皆さんには学会のロビー会場のような空間でのコミュニケーションを体験していただけます。そして、ポストコロナ時代の新しい学びの場のアイデアが膨らむ機会となることを期待しています。

NEW

MEDTaaalk3 5/21(土) 9:00-12:00

オンライン学習ツールを駆使しよう！

ナビゲーター 今福輪太郎（MEDC）、西城卓也（MEDC）

日時：5月21日（土）9:00~12:00

- 1) 9:00- これからのオンライングループ討議：協働学習の視点から
芳野 純（帝京平成大学）
- 2) 10:00- 動画シナリオ教材の学習へのインパクト：認知と感情と
布原佳奈（岐阜県立看護大学）
- 3) 11:00- eラーニングを身体診察教育に埋め込む
舗野紀好（千葉大学）

概要： 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、医療者教育者はICTを活用してマルチメディア教材や学習管理システムなどを導入しながら、さらなるオンライン教育の開発・実施を余儀なくされてきました。
MEDTaaalk3では、3名のプレゼンターのオンライン教材開発やオンライン学習ツールの活用、また、その教育実践での工夫や苦労といった経験談を交えながら、今後のポストコロナ時代におけるオンライン教育と対面教育の在り方についてもお話を広げます。

WS-1 5/19(木) 13:00-16:00

TL

医療者教育の基本を教職協働で学ぼう（教務事務職員研修共同企画）

企画： 藤崎和彦（MEDC）、早川佳穂（MEDC）、西屋克己（関西医科大学）、鈴木一吉（愛知学院大学）

日時： 5月19日（木）13:00～16:00

概要： これまで臨床の経験はあるけれど、教育に携わることが初めての教員の方、あるいは医療系の教育機関で働き始めたばかりの事務職員の方が、医療者教育を基本から学ぶことを目的としたワークショップです。MEDCが提供する「医療者教育スターターキット」のコンテンツの中から、特に基本となるテーマ「アクティブラーニング」「OSCE」「シミュレーション教育」を取り上げ、教職協働でディスカッションを交えながら学びます。もちろん、もう一度基本から学びたいという教職員の方も歓迎します。参加者の皆さんにはeラーニングプログラム「医療者教育スターターキット」に登録していただき、ワークショップ終了後も他のテーマを自分のペースで学んでいただけます。ご参加お待ちしております。

「医療者教育スターターキット」 <https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/medicaleducation/starterkit.html>

対象： 医療者教育機関で働き始めたばかりの教員、職員、あるいはこれから医療者教育学を学んでいきたい方 定員：30名

WS-2 5/20(金) 9:00-12:00

ML

Student supporter meets IRer

～学生支援とIRの協働の可能性を探る～

（教務事務職員研修共同企画）

企画： 川上ちひろ（MEDC）、恒川幸司・堀田 亮（岐阜大学）、菰田孝行・瀬戸山陽子（東京医科大学）

日時： 5月20日（金）9:00～12:00

概要： 教職員による学生支援がさまざまな場面で日々実施されており、学生は大学生活や学習などで支援を受けている。学生支援のさらなる充実と進歩を図るための一つの方法として、IR（Institutional Research）部門との協働が考えられる。しかし学生支援、IR双方は学生に帰属する情報を持っているが、機密保持の観点から完全な情報共有や協働には課題も多い。このワークショップでは学生支援とIRの協働の可能性を探るべく、双方の現状を明らかにし、改善点や工夫できる点を検討する。学生支援やIRに関わる教員・事務職員と、関わっていない教員・事務職員の参加が見込まれるため、それぞれの立場から意見交流する。なお、ワークショップに向けて事前学習として、教務事務職員研修の参加者は学生支援（川上・堀田作成）やIR（恒川作成）動画を視聴しておく。その他の参加者は、同様の動画視聴を奨励する。

対象： 教務事務職員研修参加者、学生支援やIRに関わる教員・事務職員

WS-3 5/21(土) 9:00-12:00

TL

コミュニケーション教育としての「やさしい日本語」：実践と導入のTips

企画： 武田裕子（順天堂大学）、岩田一成（聖心女子大学）、新居みどり（NPO法人国際活動市民中心(CINGA)）、石川ひろの（帝京大学）

日時： 5月21日（土）9:00～12:00

概要： 日本に住む外国人のうち、英語でコミュニケーションをとっている人は20%くらいですが、「やさしい日本語」なら理解できる人は9割近くいます（2021年出入国在留管理庁調査）。「やさしい日本語」とは、相手に合わせて分かりやすく伝える日本語を指します。外国人対応を求められる行政窓口や外国人支援の場で活用され始めていますが、医療者にはあまり知られていません。「やさしい日本語」は、相手の文化背景や生活社会歴を確認しながらコミュニケーションすることが求められ、異文化理解や健康の社会的決定要因への理解を深めるきっかけにもなります。本ワークショップは、第1部で外国人模擬患者とのロールプレイを行って「やさしい日本語」のコツを学び、第2部では「やさしい日本語」研修導入事例をもとに、参加者の所属機関で「やさしい日本語」の教育・研修を紹介・導入する方略について討議し、アクションプランの作成に取り組みます。

対象： コミュニケーション教育を行う医療系学部教員、多文化共生に関心のある教員・医療者・学生

定員：25名

学務からはじめる医学教育のDX 事例に学ぶ情報のデジタル化

企画：安倍 博（福井大学）、羽根田 洋（福井大学）

日時：5月21日（土）9:00～12:00

概要：職場でのデジタルを活用した課題解決や新しい価値想像（＝DX）を考える際、職場で産み出される多種多量のデータを有効活用すること（デジタル活用）が最終目標ですが、実際にはその前の段階として当該のデータを継続的に取得し、体系化しておくこと（デジタル化）が必要です。つまりDXは、まずデジタル化を行い、その次にデジタル活用という2段階構成となっているのです。職場では日々データは産み出されていますが体系化がなされていない場合が多く、「同じデータを現場ごとで入力」とか、「紙をエクセルに替えただけ」とか、デジタル化（体系化）できていない場合の“あるある”が存在します。そこで、これら“あるある”を身近にあるICTやクラウド環境を使って解決し、体系化をいかに実現するかについて、Google Workspaceを活用した福井大学の遠隔授業サポートシステム「F.MOCE」の構築プロジェクトを基に学びます。参加者と“あるある”を医学教育のDXに向けた“タネ”にすることを本WSの目標とします。

対象：IT/クラウドを使って日々の業務をもうちょっと楽にできないかな、と考えている学務/教務職員、教員 定員：30名
（プログラミングやIT/クラウドの知識は不要です）、医学教育DXを企画している学務/教務職員、教員

▶▶ 事前登録制です。【MEDC】HPより直接お申し込みください。
<https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/>

申込期間 2022年 4月 4日(月)～ 4月 22日(金)

参加費：2,000円 学部学生無料

（振込手数料はご負担願います。）

参加費のお支払いについては、インターネットからお申し込み後、MEDC事務局からの自動返信メールにてご案内いたします。

参加費は、資料ならびにセミナーワークショップの報告が掲載されている「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。

開催方法：Zoom（Web会議システム）

※定員を設けております。申し込み順にて受け付けいたしますので、ご了承ください。
なお、当日参加は受け付けません。ご理解とご協力をお願いいたします。

※ ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。ワークショップ運営上、各々定員を設けております。申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

医療者教育学の基本を教職協働で学ぶeラーニングプログラム

“医療者教育学スターキット”

★ 医療者教育機関で働き始めたばかりの教員、職員
これから医療者教育学を学んでいきたいかたにむけたプログラムになっています。

🌙 新任の教員、事務職員にむけたFD/SDプログラムの1つとしてもご利用いただけます。

スターキットは
こちらから↓



詳しくはMEDCのHPで↓

<https://www1.gifu-u.ac.jp/~medc/medicaleducation/starterkit.html>

MEDCが提供する学びの宙

全国の医療者教育に従事する人を対象として、“人材育成者の育成”に取り組んでいます。

